海を駆ける（2018）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ファンタジー
製作国 日本／フランス／インドネシア
色彩 Color
時間 107分
初公開日 2018/05/26
公開情報 日活＝東京テアトル
映倫 G

【キャッチコピー】
全ての生命を産み出す「海」
全ての命を奪う「海」
彼は「海」から現れた――

【解説】
「歓待」「淵に立つ」の深田晃司監督が2004年に発生した大津波で甚大な被害を受けたインドネシアのバンダ・アチェを舞台に、日本、フランス、インドネシアの合作で撮り上げたファンタジー・ドラマ。出演はディーン・フジオカ、太賀、阿部純子、鶴田真由。
日本からアチェに移住し、ＮＰＯ法人で災害復興の仕事をしながら大学生の息子タカシと暮らす貴子。彼女がタカシの同級生クリスとその幼なじみでジャーナリスト志望のイルマの取材を受けているとき、海岸で身元不明の日本人らしき男性が発見されたとの連絡が入る。男のもとへと向かった貴子は、記憶喪失らしい男をひとまず家で預かり、海を意味する“ラウ”と名付ける。いつも静かに微笑んでいるだけのラウだったが、やがて彼の周りで不可思議な現象が起こり始める。

【クレジット】

監督	深田晃司	
製作	新井重人	
エグゼクティブプロデューサー	太田和宏	
	荒木宏幸	
	江口航治	
	宮崎伸夫	
	梅村昭夫	
	澤田正道	Masa Sawada
プロデューサー	小室直子	
	紀嘉久	
脚本	深田晃司	
撮影	芦澤明子	
編集	深田晃司	
音楽	小野川浩幸	
照明	永田英則	
出演	ディーン・フジオカ	ラウ
	太賀	タカシ
	阿部純子	サチコ
	アディパティ・ドルケン	クリス

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

セカール・サリ	イルマ
鶴田真由	貴子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.